（配布）資料

令和７年１月２１日

徳山動物園　機関車改修について
～蒸気機関車　Ｄ５１　３９５　８５年目のリニューアル～

周南市徳山動物園は、動物園リニューアル事業の一環として、歴史的、文化的にも価値の高い蒸気機関車の優美な姿を、再び多くの市民や来園者に親しんでいただくため、令和６年10月よりＳＬの外装等の修復とその周辺広場の整備工事に着手しました。

令和６年10月には、大型クレーンで吊り上げて作業ヤード内へ移設を行い、密閉空間の中で塗装剥ぎ取り作業等を実施してまいりました。

この度、令和７年１月２８日（火）２９日（水）には、塗装剥ぎ取り作業が完了したSLを、機関車広場プラットホーム前のレール上へ移設します。移設作業当日は、作業状況を公開いたします。

※　工事中の安全確保のため、工事用バリケードの外側よりご覧ください。なお、仮囲いで囲まれた作業ヤード内への立入りはお控えください。

※　車両の塗装は移設後に行うため、当日は母材がむき出しとなった状態です。

【蒸気機関車移設作業について】

１．場　　所　周南市徳山動物園　南園エントランスゾーン
（周南市大字徳山５８４６番地）

２．日　　時　令和７年１月２８日（火）
[当日の作業スケジュール]
８：００　２２０ｔクレーン組立（作業ヤード内）
１０：００　ＳＬ炭水車　積込み荷下し（作業ヤード⇒機関車広場）

令和７年１月２９日（水）
[当日の作業スケジュール]
８：００　ＳＬ本体上部下部　積込み（作業ヤード内）
１１：００　２２０ｔクレーン移動（作業ヤード⇒機関車広場）
１３：００　ＳＬ本体下部　荷下し（機関車広場内）
１４：００　ＳＬ本体上部　荷下し（機関車広場内）
１５：００　２２０ｔクレーン解体
※下線時間帯が機関車広場でのSL本体部分移設作業予定となります

【裏面へ続く】

プラットホーム風景

塗装剥ぎ取り後の SL

【機関車改修について】

１．工事の主な内容

(1) 車両の修復：車両の損傷・サビなどを修復し、塗装を全て塗り替え、ＳＬ本来の姿を取り戻します。

(2) プラットフォームの設置：整備後は、より間近でＳＬを観察できるようになり、運転室へ安全に搭乗できるようにもなります。

(3) 周辺広場の整備：本工事は、主に車体の改修となりますが、その後実施する修景工事を終えれば、徳山動物園のエントランスゾーンとして市民や来園者に愛される広場空間としてオープンいたします（令和７年度内を予定）。

２．機関車改修の工期：令和６年１０月から令和７年３月末まで

機関車広場整備工事完成イメージ

移設中の SL（令和６年 10 月）

【徳山動物園　展示ＳＬ車両について】

展示中の蒸気機関車「Ｄ５１形３９５」は１９４０年（昭和１５年）１月に製造され、１９７１年（昭和４６年）まで岩徳線などの路線を走行。同年１０月に旧日本国有鉄道（現在はＪＲ貨物が所管）から旧徳山市に無償貸与がなされ、以来徳山動物園に展示されています。